

＜日本の伝統色＞

現在は色を分けたり分類したりする方法が考えられていますが、昔は色名（しきめい）の違いによって色を仕分るしかありませんでした。また印刷や絵の具が発達する以前は、色を伝達するにも色名を伝えるしかできませんでした。しかし昔の人も優れた感性で色に美しい名前をつけ、そしてそれを大切にしていました。

みなさんも伝統色名を知り、昔の人の感性を感じてみましょう。
昔の人の感性に挑戦！

1. 知っている伝統色名（と思われるもの）を、できるだけあげてみましょう。

	色名	色相		色名	色相
例	さくら色	色鉛筆で色を塗る	17		
1			18		
2			19		
3			20		
4			21		
5			22		
6			23		
7			24		
8			25		
9			26		
10			27		
11			28		
12			29		
13			30		
14			31		
15			32		
16			33		

年 組 番 名前
